

脇山主基齋田 90周年記念事業

# お田植祭

おいでよ、わきやま！ 行こうよ、90年前！



主催：主基齋田90周年記念事業実行委員会  
早良区役所総務部企画課

■ 6月16日(土) 8:45~12:00  
■ 福岡市立脇山小学校 体育館及び学校田  
■ 90周年記念式典、お田植え、お田植舞披露  
フォトコンテスト、パネル展

■ 10月13日(土) 12:00~15:00  
■ 福岡市立脇山小学校 体育館  
■ パネル展等

■ 問い合わせ  
脇山公民館(803-1815)

## アクセス



知っておいてほしい脇山主基齋田、5つのこと

### □ そもそも主基齋田って何？

天皇が即位する時、「即位の大礼」と「大嘗祭(だいじょうさい)」が行われるが、その大嘗祭に献納されるお米を栽培する耕作地のこと。この耕作地には京都以西より1カ所、京都以东より1カ所が選ばれる。京都以东より選ばれた耕作地は悠紀齋田(ゆきさいでん)と言う。

### □ 90周年って言うけど、90年前に何があったの？

90年前の1928年(昭和3年)に大正天皇の崩御により、昭和天皇が即位したが、その時の大嘗祭に献納するお米が京都以西の耕作地として脇山で作られた。耕作地決定の伝達から京都への輸送に至るまでの約7ヶ月、脇山は県を挙げての一大事業の舞台となる。当時の6月5日~7日の3日間で田植えが行われたが、交通機関も十分に発達していない中でありながらも3日間で延べ15万人の人々が見物のため脇山を訪れた。

### □ そもそも脇山が選ばれたのはなぜ？

悠紀齋田、主基齋田が作られる悠紀地方、主基地方は皇居の神殿前庭で行われる亀の甲羅を使った占いで選ばれた。そして主基地方として選ばれた福岡県では様々な候補地を選定、その中から水がきれいにて収穫時期が早く、風俗人情 純朴ということで早良郡脇山村が選ばれた。

### □ 献納米作りに取り組んだ当時の脇山の人々にはどんな苦労があったの？

五穀の新穀を天地の神々に供える大嘗祭に献納するお米には細心の心配りが求められた。田んぼや水の衛生、害虫駆除、刈り取り後のお米の選別・・・警備、来場者のおもてなし等。それぞれにどんな苦労があったのかは、式典当日のパネル展をご覧ください。

### □ 90年経った今もお田植舞を続けることができるのはなぜか？

お田植舞は田植えの際にお田植舞歌にあわせて踊るもの。歌詞は明治天皇の御製の和歌を、節は矢部村の茶山歌、星野村の反耶舞(はんやまい)、城島の酒造唄をもとに、そして振り付けは宇島、大里、一貴山の盆踊りなどを取り入れたとされる。昭和3年以降も毎年行われていたが、戦争により途絶えていたものを昭和41年に旧早良郡の有志の尽力により主基齋田記念行事「お田植え式」が行われお田植え舞が再開された。その後婦人会の努力、自治協議会文化部の児童への舞の指導、踊りの装束・菅笠の修繕・管理により支えられている。10年後の2028年には100周年を迎えるが、これからの10年間、お田植舞を継承していけるよう大人も子どもも先人の思いを胸に、頑張らなくてはならない。